２．データの分布の特徴の表し方

（１）**代表値**…データの特徴を表す１つの値。**平均値・中央値・最頻値**など。

① 平均値 …個々のデータの値の和をデータの総数でわった値

平均値 ＝ データの値の合計 ／ データの個数

② 中央値（メジアン） …データの値を大きさの順に並べたときの**中央の値**
データが偶数のときは中央の２つのデータの平均

③ 最頻値（モード） …データの中で、最も多く出てくる値
度数分布表では度数の最も多い**階級値**（階級の真ん中の値）

（例題１）右の表は，ある中学校の１年男子46人の握力の記録をまとめたものである。次の問いに答えよ。
(1) 表のア～ウにあてはまる数を求めよ。
(2) この表から平均値を，四捨五入によって小数第１位まで求めよ。

階級(kg) 以上 未満	階級値(kg)	度数(人)	(階級値)×(度数)
20～25	22.5	7	157.5
25～30	27.5	8	220.0
30～35	ア	14	イ
35～40	37.5	13	487.5
40～45	42.5	4	170.0
計		46	ウ

(1) ア $= \frac{30+35}{2} = 32.5$

イ $= 32.5 \times 14$ (2×7) $= 65 \times 7 = 455.0$

ウ $= 157.5 + 220.0 + 455.0 + 487.5 + 170.0$
$= 645 + 455 + 390$
$= 1100 + 390$
$= 1490.0$

(2) $1490 \div 46 = 32.4\cancel{8}\cdots$

A. 32.4 kg

（例題2） 下の表は，あるクラス21人について，１か月に読んだ本の冊数を調べたものである。次の問いに答えなさい。

冊数(冊)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数(人)	2	7	4	3	0	1	2	1	0	1

(1) 中央値を求めなさい。　11番目の人 → 2冊
(2) 最頻値を求めなさい。　度数が最も多い → 1冊

（例題3）右の表はある日の小テストの結果です。次の問いに答えよ。
（１）平均値を求めよ。
（２）中央値を求めよ。
（３）最頻値を求めよ。

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
20	20	16	14	12	16	20	16	20	14
L	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
20	18	10	14	20	18	16	20	20	16

小さい順に並べる

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
10	12	14	14	14	16	16	16	16	16	18	18	20	20	20	20	20	20	20	20

−10 −8 −6 −6 −6 −4 −4 −4 −4 −4 −2 −2
−18 −18 −20 −4
−36 −24
−60

(1) 合計 $20 \times 20 - 60 = 400 - 60 = 340$

平均値 $= \frac{340}{20} = 17$点

(2) 中央値 ＝（10番目と11番目の2人の平均）＝ $\frac{16+18}{2} = 17$点

(3) 最頻値 ＝（度数が最も多い値）＝ 20点